

国際科 1年次 カリキュラム

授業内容区分	科目名	内容・目標	1年前期 時間数	1年後期 時間数
			計	計
語学	初級英会話	国際的に活躍できる人材になるために、日本語だけでなく、英語も身に付ける。1年次は身近なテーマや日常会話から実践的に学習を行う。	18	18
	基礎英語	英語の基礎を固め、土台を作ることを目標とする。語彙を増やし、英文法の基本をしっかりと定着させ、より英語の構造に対する理解を深める。	18	18
社会人能力育成	日本文化 茶道	日本の伝統文化である茶道を通して、日本や日本人に対する理解をより深めることを目標とする。	18	18
	ビジネスマナー	日本で、日本人と働く際に必要となる身だしなみ、挨拶、言葉遣いなどを学ぶ。社会人としての意識の形成、働く際に必要となるスキルを身に付けることを目標とする。	18	18
	異文化理解	世界の多様な文化、習慣に対する理解を深め、異なる文化の人と出会ったときに、問題なくスムーズにコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。	18	18
	総合教養講座	日本で就職活動をするにあたって必要となるスキルを身に付ける。就職活動に対しきちんと心構えをし、備えることで就職活動の際に役に立つだけでなく、実際に「使える」ようになる。面接などの際に話が広げられるように今社会では何が起きているのか時事問題も授業の中で取り上げる。	18	18
	社会人基礎力育成	プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチ等働く上で役に立つ能力を育成することを目標とする。	18	18
	PCスキル基礎	1年次では、基本的なコンピューターの使い方を学ぶ。まずは、日本語でコンピューターを入力することに慣れ、日本語を用いてWord、Excel、メールなどの作業ができるようになることを目標とする。	18	18
	体育	スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを学ぶ。それとともに、健康維持増進と体力の向上を目指す。	18	18
日本語力向上	総合日本語	四技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。	72	72
	日本語能力試験対策	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。	108	108
	ビジネス日本語	特に仕事をする上で役に立つ日本語表現を学ぶ、ロールプレイを通して敬語を正しく使えるようになるなど、実際に働く際に役に立つ日本語の知識を習得することを目標とする。	18	18
	日本事情	日本社会、日本文化、日本人に対して「日本」に関するあらゆる知識を深めることを目標とする。日本人と関係を作る上で、何が大切なのかを学ぶ。	18	18
	日本語レベルアップ	「話す」、「書く」などを中心に学び、自ら発信する力を伸ばす力を身に付けることに焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。	36	36
専門分野	通訳入門	発音、初級文法など基礎を徹底的に見直すことで、語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ることを目標とする。1年次に土台をしっかりと作りおくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一歩を学ぶ。さらに、翻訳の基礎もこの授業の中に含める。	72	72
			486	486
1年次総時間数				972
※さらに「オリエンテーション」、「親睦会」、「スポーツデイ」、「辛島祭」等でさらに33時間加算される。				